

2013年度 行事報告

【総会】

日時：2013年6月30日（日）

場所：佐倉城址公園

参加者数：72名＋こども6名

総会が佐倉城址公園で行われました。事務局より24年度会計報告と25年度世話人と行事予定の提案があり了承されました。

【第67回観察会】

日時：2013年6月30日（日）

場所：佐倉城址公園

講師：吹春 俊光

参加者数：72名＋こども6名

採集数：64種（不明種を含む）

年度初回の観察会は例年7月に行っていましたが、いつもカラカラ天気で観察できるきのこが少ないという意見もあり、春の桜の開花が早かったこともあり、今年は6月中に開催しました。結果は…？ 天気は快晴。この日の最高気温26℃。前の週に適度に雨も降り、

観察したきのこは種数・種類共に満足できるものでした。7月になると気温も30℃を超えて暑くなりますから、今後も6月中に行うのが良いかもしれません。

同定会では菌学会で活躍中の方々の専門的なお話もあり、大変参考になりました。

観察記録（50音順）

アイゾメニガイグチ、アイバシロハツ、アカヤマタケ属、アカヤマドリ、アセタケ属、アワタケ（広義）、イヌセンボンタケ、ウスヒラタケ、オオカボチャタケの仲間、オオキヌハダトマヤタケの仲間、オオツルタケ、オオホウライタケ、オキナクサハツ、オトヒメアンズタケ、オニイグチ属（数種混在）、カレバキツネタケの仲間、カンゾウタケ、キチャハツ？、キツネタケ属、キヒダタケ（広義）、クサウラベニタケ、クモタケ、クロヒメカラカサタケ？、クロラッパタケ、ケショウハツ、コガネニカワタケ？、コムラサキシメジ、ザラエノハラタケ、ザラツキトマヤタケ？、シラゲアセタケの仲間、シロソウメンタケの仲間、シロハツの仲間、スジウチワタケ、ダイダイガサ、タマゴテングタケモドキ（アカハテン



第67回観察会 集合写真 2013年6月30日 於：佐倉城址公園

グタケ), チチアワタケ, チャツムタケ属?, ツエタケ属の一種, ツチグリ, "ツチナメコ? (近縁が2, 3種有)", ツヤウチワタケ, ツルタケ, テングツルタケ, ナガエノチャワンタケ, ナヨタケ属, ニオイコベニタケ, ニオイワチチタケ, ニセクロハツ, ニセショウロ属, ノウタケ, ノボリリュウタケ, ハイイロカレエダタケ, ハナオチバタケ, ヒイロタケ, ヒトヨタケの仲間, ヒロハシデチチタケ, ヒロヒダタケ, フサヒメホウキタケ, マメザヤタケの仲間, ミドリニガイグチ, ムラサキヤマドリ, ヤナギマツタケ, ヤマドリタケモドキ, ワカクサタケ (千葉では珍)



ワカクサタケ *Hygrophorus psittacina*

【第68回観察会】

日時: 2013年9月14日 (土)
場所: 泉自然公園
講師: 吹春 俊光
参加者数: 64名+こども7名
採集数: 90種 (不明種を含む)

各地で最高気温が40℃を超えようかという酷暑が続いた夏でした。この日も32℃とまだ残暑が厳しかったですが、多くの参加者が集まりました。西日本や東北では大雨をもたらしたのとは対照的に関東地方では雨が少なかったのですが、前の週に適度なお湿りもありました。

いつもは多く見られるイグチやベニタケの仲間が少なかったように思います。代わりに硬質菌やノウタケがたくさん集まりました。参加者の中に硬質菌にとっても詳しい方がいらして、名前をどんどん付けて下さいました。神奈川きのこの会の方だそうです。ノウタケは子

供達に大人気。何度も手で押して胞子をいっぱい飛ばしていました。あんなに胞子を吸っても大丈夫なのかな? ちょっと心配になりました。

観察記録 (50音順)

Hydropus (ヒロヒダタケモドキ?), *Limacella* (ヌメリカラカサタケ属), アカヒダカラカサタケ (珍), アケボノオシロイタケ (珍), アセタケ属1, アセタケ属2, アメリカウラベニイロガワリの仲間, アヤメイグチ?, アラゲキクラゲ, アワタケ属, アンズタケ属, イグチ類, イッポンシメジ属, イロガワリ, ウスキテングタケ, ウスキモリノカサ, ウスヒラタケ, ウチワタケ, ウラグロニガイグチ, ウラベニガサ, オオチリメンタケ, オニイグチ属, オニタケ, カサヒダタケ, カバイロツルタケ, カワキタケ, カワラタケ, キアシグロタケ, キッコウアワタケ, キツネガサ, キツネノカラカサタケ属, クリイロイグチ, クリゲノチャヒラタケ, クロハツモドキ, クロヒメオニタケ (珍), コガネキヌカラカサタケ, コショウイグチ, コタマゴテングタケ?, コテングタケモドキ, コフキサルノコシカケ, サクラタケ, ザラツキキトマヤタケ, シロオニタケ, シロタマゴテングタケ, シロツルタケ, シロハカワラタケ, シロハツ, スミゾメヤマイグチ, スルメタケ, ダイダイガサ, タマゴテングタケモドキ, チチタケ属, チャカイガラタケ, チャツムタケ属, ツクツクボウシタケ, ツチグリ, ツブカラカサタケ, ツヤウチワタケ, ツルタケ, テングタケ, テングタケダマシ, テングツルタケ, ドクツルタケ, ナラタケモドキ, ニオイコベニタケ, ニガイグチ属, ニガクリタケ, ニセショウロ属, ネンドタケ, ノウタケ, ハイイロイタチタケ, ハナオチバタケ, ハナビラタケ, ハラタケ属1 (白), ハラタケ属2 (茶), "ハラタケ属3 (白, 裏ピンク)", ハラタケ属4, ヒイログサ, ヒメキシメジ, ビョウタケの仲間, コブリビロードツエタケ (=ビロードツエタケ), ホコリタケ属, ボタンイボタケ, マンネンタケ幼菌, ミドリニガイグチ, ミヤマザラミノヒトヨタケ, ムラサキシメジ属, ヤグラタケ, ヤマドリタケ属, ロウタケの仲間

【第69回観察会】

日時: 2013年10月12日 (土)
場所: 市原市民の森

講師：吹春 俊光

参加者数：58 名+こども 6 名

採集数：77 種（不明種を含む）

9 月になっても 30℃を超える日が続き、2013 年は本当に長い夏でしたが、10 月に入つてようやく秋の訪れを感じるようになりました。金木犀の花の香りも最盛期。3 日前に雨も降りました。きのこシーズン到来です。しかし、この日は風がとても強く、きのこを乗せる新聞紙やきのこの種名を書いた紙が飛んでしまうのです。結局、新聞紙はやめて直置きに。種名の紙はテープで固定することにしました。会場準備にはこんな苦労もあります。でも多くのきのこが集まり、参加者の笑顔があれば何でもないさ…なんてね。

今回はイグチの仲間がとても少ないのが印象的でした。キシメジ科も少なめでした。例年とは違った発生状況のように思えました。やはり長くて暑い夏はきのこ界にとっても大変だったのかもしれません。

※46 ページに集合写真の掲載があります。

観察記録 (50 音順)

アカヤマタケ、ウコンハツ、ウスキモリノカサ、ウスタケ、ウスヒラタケ、ウラベニホテイシメジ、ウラムラサキシメジ、オオツルタケ、オニイグチの仲間、カキシメジ、カノシタ、カバイロツルタケ、カラカサタケ、カワリハツ、ガンタケ、キイロハツ、キショウゲンジ、クサウラベニタケ、クサハツ、クロノボリリュウタケ、クロハツ、クロハツモドキ、コウタケ、コウモリタケ？、コタマゴテングタケ、コテングタケモドキ、サクラシメジ、サクラタケ、サマツモドキ、ショウロ、シロアンズタケ、シロオニタケ、シロタマゴテングタケ？、シロハツ、スギエダタケ、タマゴタケ、タマゴタケモドキ（猛毒）、タマシロオニタケ（毒）、チシオタケ、チチアワタケ、チチタケ、ツチグリ、ツルタケ、テングタケ、テングタケ属、ドクカラカサタケ、ドクツルタケ？、トビチャチチタケ、ナラタケ（広義）、ナラタケモドキ、ニオイコベニタケ、ニガクリタケ、ニワタケ、ノウタケ、ハエトリシメジ、バカマツタケ、ハタケシメジ、ヒイロタケ、ヒナアンズタケ、ヒメキシメジ、ビ

ョウタケの仲間、ヒョウモンクロシメジ（毒）、フクロツルタケ、フタイロシメジ？、ブドウニガイグチ、ベニタケ属、ベニチャワンタケの仲間、ヘビキノコモドキ、ホウキタケの仲間、ホオベニシロアシグチ、ホンシメジ？、ミネシメジ？、ミヤマタマゴタケ、ヤグラタケ、ヤマドリタケモドキ、ユキラッパタケ、ルリハツ

【第 57 回日本菌学会参加】

日 時：2013 年 6 月 8 日（土）～9（日）

場 所：東京農業大学

日本菌学会第 57 回東京大会のアマチュアの会有志によるコーナー「アマチュア研究者の取り組み（2013 年）」へ参加し、本会の紹介ポスターおよび会報の展示、会報最新号（29 号）の販売を行いました。

【第 22 回スライド会】

日 時：2014 年 1 月 5 日（日）

場 所：千葉県立中央博物館講堂

参加者数：59 名+こども 3 名

新しく導入したパソコンの新 OS を誰も使ったことが無かったというハプニングが起きましたが、冷静にも？Y 幹事が持参していた旧 OS パソコンが役立ち、開始時間が遅れたものの無事開催することができました。この日、新会長になって頂いた金城先生よりご挨拶がありました。今年の干支「午」に関するお話がありました。午の刻は正午。それより前は午前、後は午後。また午は南の方角を指し、反対の子は北を指す。それで子午線。なるほどと印象に残りました。

「硬いきのこを薄く切る」技術に質問が相次ぎ、聴衆者の驚きを感じられました。「親子で楽しむキノコのスケッチ」ではお子さんに「きのこ」を指導するお母さんの情熱にとっても感心しました。「マツタケ狩り」では羨望のため息があちらこちらから漏れました。「センボンキツネノサカズキをめぐるエピソード」では福島で除染の名のもとに行われている環境破壊の実態を知りました。「めざせ！きの

こ」では発表者のパフォーマンスが更に向上して、歌あり（踊りはなかったけど）の楽しいものでした。その他の発表も2013年の活動ぶりが窺える力作でした。次回も楽しみです。

また、「すずらん」による元気いっぱいのハンドベル演奏が2年振りにありました。

曲目：「崖の上のポニョ」「浜辺の歌」
「いのちの歌」

ハンドベルサークル「すずらん」は、八千代市内の特別支援学級や特別支援学校の生徒さんと卒業生などで構成されており、仕事を持ちながら活動しているメンバーもいます。結成から15年、会員は約30名。

当会会員の近田節子さんは、その指導にはじめから従事、各地のイベントにも参加しています。当会でも子供たちに、発表する喜びや社会とのつながりを持ってほしいとの願いから、2001年よりスライド会を利用した発表をみなさまにお届けしています。「演奏しやすい会場でのびのびと、サークルのメンバーも喜んで発表しておりますので、今後ともよろしく願いいたします。」と話す近田さん。来年の発表が楽しみです。

スライド発表

須賀 良行：25年のきのこ

浅井 淑子：いわきで出会ったきのこ

ーいわき移住2年目ー

大久保泰和：硬いきのこを薄く切る

中田真也子：幕張で観察したキノコの紹介

&親子で楽しむキノコのスケッチ

山本 充弘：2013年南房総のキノコから

大作 晃一：マツタケ狩り

前川 啓二：キノコと友達になろう 2013

宮林 八男：千葉県内で見つけた2013年のきのこ

大久保 彦：埼玉県のRDBキノコ

佐野 悦三：「佐野書店・佐野悦三」

2013年の活動

浅井 郁夫：センボンキツネノサカズキを

めぐるエピソード

三休さん：めざせ！きのこ



展示品の紹介風景

小物展示コーナー

<写真・書籍・資料等>

谷田・武西の花暦、きのこの外国古書、幕張のきのこスケッチほか

<小物展示品>

アミガサタケのカード立て、毛糸（原毛）のきのこ、きのこ柄編みのマフラー、きのこ絵柄のTシャツ、きのこの置物、きのこの文鎮2点、クリスマスツリー陶芸品、ブックカバー、ポストカード、きのこのプレート、アクセサリ、手作りキャラクターのキーホルダー、ロシアの陶器、北欧メーカーの皿、キノコプリントのポーチ、竹べら&ユニット鎌、きのこ探しの開運アカザの杖、ドングリ独楽、四葉のしおり、手づくりキャラメル（下記にレシピ）、採集生菌（ヒラタケ、ショウロ、エノキタケ）、乾燥茸（マンネンタケ、アミガサタケ、アラゲキクラゲ）

※一部は参加者へプレゼントとしてご提供いただきました。ありがとうございます。

なお、出品者名は割愛させていただきました。

小物展示担当 大蔭和子・菊池栄子

磯田京子さんのキャラメル

- ・バター100g ・コンデンスミルク200g
 - ・水あめ200g ・砂糖200g
- 小さい火で焦がさないように混ぜるだけ。